

県内景況は悪化、改善の兆し見えず

コロナ禍の影響全業種に蔓延、更なる長期化懸念

～景況 DI 値前月比 23.6 ポイント低下、前年同月比 84.2 ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比で47.4ポイント低下、前年同月比では89.5ポイント低下。非製造業では、前月比で5.2ポイント低下、前年同月比では78.9ポイント低下。

在庫数量 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では10.6ポイント低下。非製造業では、前月比で41.7ポイント低下、前年同月比では25.0ポイント低下。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比では5.3ポイント低下。

取引条件 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では15.8ポイント低下。非製造業では、前月比で5.2ポイント低下、前年同月比では26.3ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI 値前月比で31.6ポイント低下、前年同月比では78.9ポイント低下。非製造業では、前月比で21.0ポイント低下、前年同月比では84.2ポイント低下。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント低下、前年同月比では47.4ポイント低下。非製造業では、前月比で26.3ポイント低下、前年同月比では68.4ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では15.8ポイント低下。非製造業では、前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では36.8ポイント低下。

景況 製造業では、DI 値前月比で31.6ポイント低下、前年同月比では84.2ポイント低下。非製造業では、前月比で15.8ポイント低下、前年同月比では84.2ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比で23.6ポイント低下、前年同月比では84.2ポイント低下となった。コロナ禍による景況の落ち込みは回復せず、製造業では、食料品、繊維工業、木材・木製品等で売上減少が続き、金属加工、金属熱処理、電気機械器具等でも受注減少が続いている。非製造業では、コロナ禍に加え8月は猛暑による外出控えも重なり、商店街、サービス業等では厳しさが増している。県内景況は悪化、新型コロナウイルス感染症が終息する気配はなく、改善の兆しは見えない。コロナ禍の影響は全業種に蔓延しており、更なる長期化が懸念される。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

8月の全国倒産は、件数655件と、3カ月ぶりの前年同月比減少、負債総額694億1,700万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月ぶりの前年同月比減少となり、2000年以降で2番目の低水準となった。不況型倒産の合計は519件、構成比は79.2%、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は435件、構成比は62.4%を占めた。

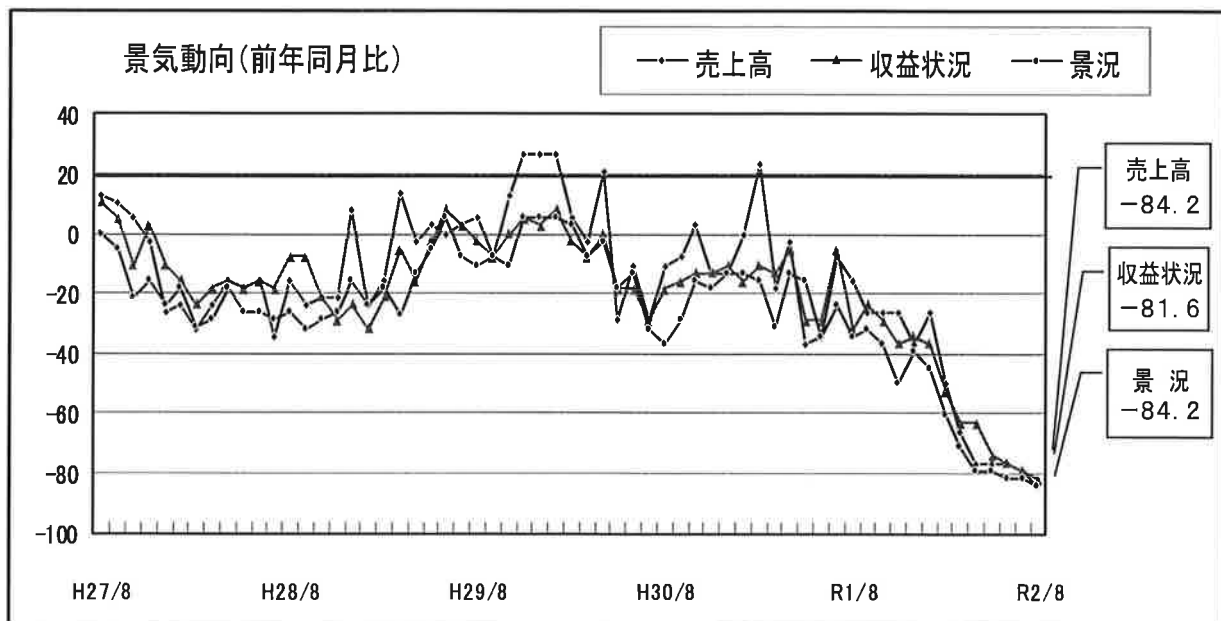
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月2件）、負債総額は4億7,800万円（前月2億5,200万円）で、業種別では、サービス業3件、主因別では、販売不振1件、放漫経営1件、その他の経営計画の失敗1件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」）

鳥取県の7月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.26倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.08倍）で、前月より0.06ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.11倍、米子所1.37倍、倉吉所1.19倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.42倍（季節調整値）で、前月を0.16ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比25.7%減少し、有効求人数は27.8%の減少となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他（49.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比18.2%減少し、有効求職者数は0.1%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.24倍で、前年同月を0.55ポイント下回った。新規求人数は前年同月を19.5%下回った。



8月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	57.9%	-47.4 -21.1	31.6%	36.8%	-5.2 -5.2	21.1%	47.4%	-26.3 -13.1
(2) 在庫数量	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	8.3%	50.0%	-41.7 -8.3	3.2%	25.8%	-22.6 -6.5
(3) 販売価格	5.3%	5.3%	0.0 5.2	15.8%	10.5%	5.3 26.3	10.5%	7.9%	2.6 15.7
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 10.5	5.3%	10.5%	-5.2 15.9	2.6%	5.3%	-2.7 13.1
(5) 収益状況	0.0%	31.6%	-31.6 -10.5	21.1%	42.1%	-21.0 -15.7	10.5%	36.8%	-26.3 -13.1
(6) 資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	10.5%	36.8%	-26.3 10.5	5.3%	21.1%	-15.8 7.9
(7) 設備操業度	0.0%	15.8%	-15.8 5.2						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	2.6%	7.9%	-5.3 0.0
(9) 景 況	10.5%	42.1%	-31.6 15.7	15.8%	31.6%	-15.8 15.8	13.2%	36.8%	-23.6 15.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	0.0%	89.5%	-89.5 -5.3	5.3%	84.2%	-78.9 -5.3	2.6%	86.8%	-84.2 -5.2
(2) 在庫数量	10.5%	21.1%	-10.6 -5.3	16.7%	41.7%	-25.0 0.0	12.9%	29.0%	-16.1 -3.2
(3) 販売価格	5.3%	31.6%	-26.3 0.0	15.8%	21.1%	-5.3 21.0	10.5%	26.3%	-15.8 10.5
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	0.0%	26.3%	-26.3 5.3	0.0%	21.1%	-21.1 5.2
(5) 収益状況	0.0%	78.9%	-78.9 0.0	0.0%	84.2%	-84.2 -5.3	0.0%	81.6%	-81.6 -2.7
(6) 資金繰り	0.0%	47.4%	-47.4 5.2	0.0%	68.4%	-68.4 -5.2	0.0%	57.9%	-57.9 0.0
(7) 設備操業度	0.0%	57.9%	-57.9 0.0						
(8) 雇用人員	10.5%	26.3%	-15.8 10.5	0.0%	36.8%	-36.8 0.0	5.3%	31.6%	-26.3 5.3
(9) 景 況	0.0%	84.2%	-84.2 0.0	0.0%	84.2%	-84.2 -5.3	0.0%	84.2%	-84.2 -2.6

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ コロナ禍の終息が見通せないなか、人の動きが鈍く、観光地や旅館・飲食店向け食材の引き合いも鈍く経営環境は依然として厳しい。Go To Eat キャンペーンに期待する。

醬 油⇒ コロナ禍の影響で落ち込んだ出荷量は、スーパー向けは回復してきたが、飲食店向けの業務用は低迷しており、全体として売上高は減少したままの状態が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、仕事量は増えつつあるが、状況が良くないメーカーが多いこともあり、受注も慎重にならざるを得ない。受注内容の質が下がる傾向もあり、コストのかからない外注に偏っている現状もある。雇用調整助成金を活用し維持しているが、特例措置期間が終わってからの見通しが立たない。座席シート縫製では、自動車座席シートトリム製品の発注がない状態で、マスクと防護服生産で稼働している。

ニット製品⇒ 来年春物・夏物商品の受注活動は進展しておらず、国内工場についての操業維持が困難な状況になりつつある。足元はかろうじてマスクや防護服生産で稼働しているが、今後は不透明で、雇用の見直し、工場閉鎖、事業停止などの動きが出てくる恐れがある。

【家具装備品】

⇒ 来店客の大幅な減少、感染対策などにも注力しているため、販売促進や新製品開発に注力できず、正常な営業に支障をきたしている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少。合板の生産量は前月比で同水準。建築需要の伸び悩みで原木価格は低迷、出荷量も減少している。引き続き需要の先行きは厳しい。プレカット加工の稼働率は、前月比5%増加、前年同月比5%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 書道用紙に関しては、正月用の書初め用紙の注文が少しずつ入っており売上は多少回復してきた。その他の書道以外の和紙については、思うように需要が伸びていない。コロナ禍の影響が大きい。

【印 刷】

⇒ 名刺、商品しおり、観光パンフレット類の増刷が増えつつある。広告制作はやや上向き、イベントの仕込みや、営業巻き返しのための準備が始まりつつある。販売価格を上げる努力をしているが、上昇と言えるほどではない。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 8月の生コン出荷量は、前年同月比で101%。地区別の出荷状況

は、東部地区 95%、中部地区 74%、西部地区 131%。運輸担当や若手技術者の人材不足が常態化している。各工場ともに設備の老朽化が進んでいるものの、需要の先行き予測が見えず経営計画は難しい。西部地区は受注残もあり、当分の間の需要は旺盛ながら、東部・中部は大型プロジェクトがなく、秋以降の需要減少は大きく大変危惧している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、多くの事業所では、県内物件も出てきており、県外物件と合わせて仕事の確保ができていない事業所もあり、価格も低下傾向となっている。機械加工は、コロナ禍の影響で仕事が少ない状況が続いており、県東部の得意先の休業も続いているが少しずつ受注を確保している事業所もある。

鉄骨加工⇒ 秋の山積みが低い事業所は物件確保の必要性があり、安い単価で受注をしている。今年は公共工事が少なく民間物件に頼りがちになるが、民間物件も多くないので競合が増している。今後は全国的な物件数減少を受け、繁忙状態を維持できる事業所と受注機会に恵まれない事業所と明暗が分かれてくる。

金属熱処理⇒ 8月の受注状況は前月比で23%、前年同月比で22%の減少となった。今後の見通しにおいても、引き続き相当日数の休業を実施しているところが大半である。そのような中で極一部に増産の動きもみられるが全体の受注量を押し上げるには及ばない状況。業界全体では引き続き厳しい事業所が多く、特に自動車部品に携わる熱処理業においては30～50%の減収で推移しており、いまだに厳しい。また、航空機関係の熱処理をしている企業では大変厳しい受注状況にある。

【電気機械器具】

⇒ 売上高は、前月比で不変、前年同月比で減少となり、先行きは不透明。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ コロナ禍の影響で、全体的に低調。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。取扱数量は減少したものの、単価が高く売上高が伸びている。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。コロナ禍の影響で、依然厳しい状況となっている。

中部地区⇒ 事務機器について、学校の夏休みで消耗品の使用が少なく、また、コロナ禍の影響で買い替えも少なく、全般的に低調。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等による売上低下が見られる。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 天候には恵まれたものの、盆休みによる連続休漁、夏枯れの状態が続き、例年に比べハマチ類の水揚げも少なく総水揚げ量は前年を下回る結果となった。コロナ禍に加え極暑の影響もあり全体の荷動きは低迷。来

月から始まる紅ズワイガニ漁、底引き漁に期待するものの県外への出張、商談を一定程度、自粛せざるを得ず、港業界全体の活力がそがれる状況。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、月中旬まで前月の横ばい状態であったが、市中スクラップの発生、荷動きに勢いがなく、需給がタイト化したため、月後半は2, 500円値上がりした。古紙市況は、前月と全く変わらず横ばい状態。非鉄市況は、全品種において、底値から脱却し強含み。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、8月はコロナ禍の影響と猛暑で外出を控える傾向が強く、特に高齢者の動きが鈍かった。また、帰省客で賑わうはずのお盆も全く動きがなく、盆期間の売上も小売、飲食とも盛り上がりに欠けた。宿泊関係はGo toキャンペーンにより若干盛り返した。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、「コロナゼロキャンペーン」の「#We  love GINZA」プロジェクトのプレミアム付き商品券の販売は、まずまずの回収状況である。商品券も使用できる第二弾の企画である「倉吉銀座 BEER FESTA」を8月29日に打吹回廊で実施した。落ち込んだ商店街の元気に繋がることを期待したイベントを打ちながら、コロナ禍に負けないように、また、商店街の活性化に繋げていきたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、コロナ禍による集客力の減少もさることながら、米子市が全国最高気温を記録するなどの猛暑の影響もあり、前月に引き続き来街者の減少が目立った。個店ばかりでなく、商店街振興組合としての運営も先行き不透明であり、今後の厳しい状況が懸念される。

境港市の水産物小売は、コロナ禍の影響で依然、苦しい状況が続いている。8月は鮮魚の水揚げが一番少ない時期であり様子見のところも多かった。9月に入ると、境港のベニズワイガニ漁や底曳き網が始まるため山陽・関西方面からの観光客を期待したい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、鳥取砂丘、砂の美術館への入込数は前月より増加したものの、盆期間中に入込数はコロナ禍の影響で、前年の50%位まで大幅に落ち込んだ。結果、売上高は前月比で増加したが、前年同月比では減少し、資金繰りが悪化しており、厳しい状況が続いている。

米子市のホテル・旅館では、オンシーズンであることから宿泊客、日帰客ともに増加したことから、前月比で売上高は増加し、販売価格も上昇したため収益状況も好転した。前年同月比ではコロナ禍の影響により売上高は減少し、収益状況も悪化した。業界全体では、新型コロナ感染症拡大防止のため、予約は自粛気味であり、景況は極めて厳しい状況。

三朝温泉では、7月集計での売上高は、前月比で不変、前年同月比では減少。コロナ禍の影響で厳しさが続いている。

大山では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少。コロナ禍の影響により資金繰りは悪化している。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前月比26%減少、前年同

月比23%減少。軽自動車は前月比22%減少、前年同月比11%減少。貨物自動車は、前月比7%減少、前年同月比26%減少、軽貨物自動車は前月比10%減少、前年同月比10%減少。中古車の継続検査台数は前月比19%減少、前年同月比7%減少。7月はコロナ禍の影響から脱した感があったが、8月は稼働日数の関係から全体として減少傾向。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注年度累計は、件数が前年より落ち込んだ一方で請負金額は微増となった。コロナ禍によるマインド低下の影響は民間設備投資全体へ拡大し、先行きさらに厳しい状況が予想される。防災・減災対策と併せた新型コロナ景気対策に向けた公共事業の促進が求められる。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向(8月)は、件数196件(前年同月比1%減)、請負金額97億円(同15%増)となった。請負金額地区別状況(8月末累計)は、東部地区(前年対比25%増)、八頭地区(同13%減)、中部地区(同28%減)、西部地区(同14%増)、日野地区(6%増)となった。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は264戸(持家161戸、貸家103戸)で、前月比6%減少、前年同月比12%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ コロナ禍の影響で盆休みが長期化し稼働日数が大幅に減少したほか製造業で出荷調整もあり輸送量は減少した。猛暑の影響もあり農産物の出荷量が減少し季節商品の出荷量は横ばいとなったが、大都市部での飲食店に対する規制から食材輸送で影響が続いており、全体として好転の兆しは見られない。復路荷物も相変わらず不足傾向が続き、空車運行もみられた。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少、燃料価格の値上がりが続いており収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 県特産の二十世紀梨も出荷が始まったが、コロナ禍の影響で例年のような車輛不足に陥る事はない。製造業でもコロナとの共生の中、関西を中心に往路荷物の出荷量は少しずつ増え始めてはきたが、神戸港を中心に山陰地方への荷物量は芳しくなく、全体的に返路荷物において運賃は下落傾向、荷物量は落ち込んだままである。燃料価格は6月より上昇し始めており、景況感は芳しくない。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・サプライチェーンも再度海外へ戻す動きがあり、最低限の国内生産の維持の発注(アパレルが無理ならメディカル分野)をお願いしたい。【ニット製品製造業】
- ・各種支援策における申請手続きの簡素化。【金属熱処理業】
- ・引き続き、中小企業者向け新型コロナウイルス対策支援。【商店街】
- ・Go to キャンペーン等の期間延長や業界の実態に即した支援。【サービス業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2019年					2020年								前年との 増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売 上 高	製 造 業	-26.3	15.7	-10.5	-21.0	-21.0	-42.1	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	-21.1
	非製造業	5.2	-5.3	-15.7	-15.7	-26.3	-68.4	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	-10.4
	全 業 種	-10.5	5.3	-13.2	-18.4	-23.7	-55.3	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	-15.8
在庫数量	製 造 業	0.0	-15.8	-21.1	-10.5	-5.2	-10.5	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5
	非製造業	-8.4	0.0	0.0	-16.7	-16.7	-25.0	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	-33.3
	全 業 種	-3.2	-9.7	-12.9	-12.9	-9.7	-16.1	-16.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-19.4
販売価格	製 造 業	0.0	5.3	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	0.0
	非製造業	10.6	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-5.3
	全 業 種	5.3	0.0	-7.9	-7.9	-2.6	-13.2	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-2.7
取引条件	製 造 業	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3
	非製造業	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	-10.5
	全 業 種	0.0	-2.6	-5.3	0.0	-2.6	-5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	-2.7
収益状況	製 造 業	-31.6	-21.0	-26.3	-31.5	-42.1	-42.1	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	0.0
	非製造業	-5.2	-10.6	-10.5	-5.3	-31.6	-52.6	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-15.8
	全 業 種	-18.4	-15.8	-18.4	-18.4	-36.8	-47.4	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-7.9
資金繰り	製 造 業	-26.3	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-31.6	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	21.0
	非製造業	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	-26.3	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-26.3
	全 業 種	-13.1	-13.2	-15.8	-28.9	-31.6	-28.9	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-2.7
設備操業度	製 造 業	-21.1	0.0	-15.8	-15.8	-10.5	-15.8	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	5.3
雇用人員	製 造 業	5.2	0.0	-10.5	5.2	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	-5.2
	非製造業	15.8	-5.2	-5.3	-10.5	-5.2	-26.3	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-26.3
	全 業 種	10.6	-2.6	-7.9	-2.6	0.0	-18.5	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-15.9
景 況	製 造 業	-31.6	-21.1	-31.5	-57.9	-52.6	-52.6	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	0.0
	非製造業	-26.3	-42.1	-26.3	-31.6	-42.1	-57.9	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	10.5
	全 業 種	-28.9	-31.5	-28.9	-44.7	-47.4	-55.3	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	5.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2019年					2020年								前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-26.3	-15.8	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-73.7
	非製造業	-15.7	-21.0	-15.8	-26.3	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-63.2
	全業種	-15.8	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-26.3	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-68.4
在庫数量	製造業	-10.5	-21.0	-26.3	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-0.1
	非製造業	-25.0	-8.4	-16.7	-16.7	-16.7	-25.0	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	0.0
	全業種	-16.1	-16.1	-22.6	-12.9	-16.1	-19.4	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	0.0
販売価格	製造業	0.0	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3
	非製造業	15.8	-10.5	-5.3	5.3	0.0	-15.8	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-21.1
	全業種	7.9	-2.6	-7.9	0.0	-2.6	-13.1	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-23.7
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	-10.5
	非製造業	5.3	-5.3	0.0	-5.3	-10.5	-5.3	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-31.6
	全業種	0.0	-5.3	-5.3	-2.6	-5.3	-7.9	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-21.1
収益状況	製造業	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.5	-47.3	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-47.3
	非製造業	-31.5	-15.8	-15.7	-31.5	-36.9	-26.3	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7
	全業種	-31.6	-23.7	-28.9	-36.8	-34.2	-36.8	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-50.0
資金繰り	製造業	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-26.8	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-21.1
	非製造業	-5.3	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-15.8	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-63.1
	全業種	-15.8	-10.5	-18.5	-26.3	-31.6	-26.3	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1
設備操業度	製造業	-15.8	-10.5	-15.7	-10.5	5.2	-5.2	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1
雇用人員	製造業	10.5	5.3	10.6	15.8	10.6	5.3	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	-10.5	-21.1	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3
	全業種	0.0	-2.7	2.7	2.6	0.0	-7.9	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3
景況	製造業	-31.6	-31.6	-47.4	-57.9	-47.4	-52.6	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-52.6
	非製造業	-16.8	-31.5	-26.3	-42.1	-31.6	-36.8	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-67.4
	全業種	-34.2	-31.6	-36.8	-50.0	-39.4	-44.8	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-50.0

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	低下	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	1
	繊維工業	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	
	木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	
業	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	
	一般機器	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0		
	輸送用機器																											
	その他																											
	19	2	6	11	0	17	2	1	17	1	0	19	0	0	13	6	0	18	1	0	16	3	0	19	0	2	9	
	100%	10.5%	31.6%	57.9%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	47.4%	
非製造業	卸売業	1	4	1	0	3	3	1	5	0	0	6	0	0	5	1	0	5	1	0	1	0	5	1	0	5	1	
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1		
	商店街	0	0	4	1	0	3	0	2	2	0	2	2	0	0	4	0	0	4	0	0	0	2	2	0	0		
	サービス業	3	1	1				1	4	0	1	4	0	3	0	2	2	2	1			1	4	0	2	2		
	建設業	1	0	0	0	0		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1		
	運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1			0	2	0	1	1		
	その他																											
業	19	6	6	7	1	4	6	3	14	2	1	16	2	4	7	8	2	10	7			1	15	3	3	10		
	100%	31.6%	31.6%	36.8%	8.3%	33.3%	50.0%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	36.8%	42.1%	10.5%	52.6%	36.8%			5.3%	78.9%	15.8%	52.6%			
	38	8	12	18	1	21	8	4	31	3	1	35	2	4	20	14	2	28	8	0	16	3	1	34	3	5		
業	100%	21.1%	31.6%	47.4%	3.2%	67.7%	25.8%	10.5%	81.6%	7.9%	2.6%	92.1%	5.3%	10.5%	52.6%	36.8%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	2.6%	89.5%	7.9%	13.2%		

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	0	0	2	0	2	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	2		
	繊維工業	0	0	3	1	0	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	0	3	
	木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	1	3	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	
化学工業	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	2	
	一般機器	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	0	3	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	輸送用機器																												
非製造業	卸売業	1	2	3	1	3	2	1	4	1	0	6	0	0	3	3	0	4	2				0	5	1	0	3	3	
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1			0	1	0	0	0	1	1	
	商店街	0	0	4	1	0	3	0	2	2	0	2	0	0	4	0	0	0	4			0	1	3	0	0	0	4	
	サービス業	0	0	5				1	4	0	0	3	2	0	0	5	0	1	4			0	2	3	0	0	0	5	
	建設業	0	1	1				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1			0	1	0	0	0	0	1	
運輸業	運輸業	0	0	2				0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1			0	2	0	0	0	0	2	
	その他																												
	19	1	3	16	2	4	5	3	12	4	0	14	5	0	3	16	0	6	13			0	12	7	0	3	16		
100%	0.0%	10.5%	89.5%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	42.1%	57.9%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	15.8%	84.2%		
	非製造業	卸売業	1	2	3	1	3	2	1	4	1	0	6	0	0	3	3	0	4	2									
		小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1			0	1	0	0	0	1	1
商店街		0	0	4	1	0	3	0	2	2	0	2	0	0	4	0	0	0	4			0	1	3	0	0	0	4	
サービス業		0	0	5				1	4	0	0	3	2	0	0	5	0	1	4			0	2	3	0	0	0	5	
建設業		0	1	1				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1			0	1	0	0	0	0	1	
運輸業	運輸業	0	0	2				0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1			0	2	0	0	0	0	2	
	その他																												
	19	1	3	16	2	4	5	3	12	4	0	14	5	0	3	16	0	6	13			0	12	7	0	3	16		
100%	5.3%	15.8%	84.2%	16.7%	33.3%	41.7%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	31.6%	68.4%				0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	15.8%	84.2%		
	38	1	5	33	4	17	9	4	24	10	0	30	8	0	7	31	0	16	22	0	8	11	2	24	12	0	6	32	
		100%	2.6%	13.2%	86.8%	12.9%	54.8%	29.0%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	18.4%	81.6%	0.0%	42.1%	57.9%	0.0%	42.1%	57.9%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	15.8%	84.2%